

生産現場の目で見える管理（生産VM）

1. 概要

目で見える管理(狭義のVM:注1)は、現場で発生する問題点、異常、ムダが一目でわかり、不具合や悪い結果が生じる前に改善を行うことができる予防的管理の手法であり、「5S」とともに、すべての管理活動のベースになっています。

目で見える管理により生産現場の「見える化」を実現することができ、問題点の早期解決や自立的に問題解決を行う現場を実現することが可能となります。

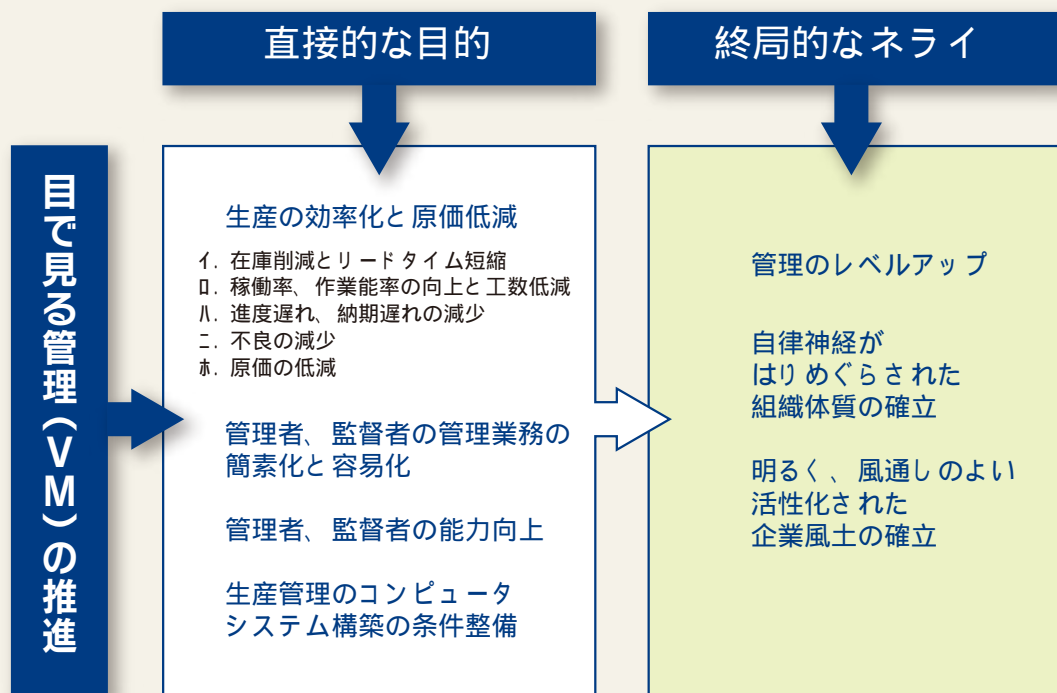
注1：VM=Visual Managementには広義のVM(目で見える経営)と狭義のVM(目で見える管理)があります。

2. ねらい

生産の進捗状況(遅れ、進み)、材料・部品・仕掛品の在庫量の多寡、不良の発生状況、機械設備の稼働・不稼働状況などの生産の状況を的確にしかもタイムリーに把握し、目で見えてわかる、誰でも見てわかる管理体制を確立します。


問題点や異常があれば早め早めに管理サイクルを回して対策し、生産現場を正常な管理状態に維持していく管理体制を確立します。

具体的な目的、ねらいは以下のとおりです



生産現場の目で見える管理 (V M)

3 . 実施方法、スケジュール

STEP 1	目的の明確化と組織化
	推進の目的、目標、対象、期間などを明確にし、全社員に周知徹底し、推進組織化を図って推進します。
STEP 2	管理のチェック項目の設定
	<p>どんなことを管理しなくてはならないかを下記の管理項目について設定し、チェックリストを作成します</p> <p style="text-align: center;">管理のチェック項目</p> <div style="text-align: center;">  </div>
STEP 3	問題点と改善点の把握
	管理のチェック項目にしたがって、実施状況をチェックリストでチェックし、問題点と改善点を明らかにします。
STEP 4	目で見える管理 (VM) の実現方法の確立
	<p>問題点と改善点について目で見える管理を実現する方法を確立します。</p> <p style="text-align: center;"> 道具立の設計 と 運用ルール シクミ作り を行ないます。 </p>
STEP 5	目で見える管理 (VM) の実施
	決めたことを守り、管理サイクルを充分回して目で見える管理を実施します。
STEP 1	フォローアップ
	目で見える管理が完全に定着するまで、推進組織や管理者・監督者が定期的にチェック、フォローアップします。

実施期間は企業規模、管理の状態 レベル、人員・工数などによって異なりますが、通常1年～3年ぐらいになります。